

ミエルカ

～特別支援学校に通う子ども達の居住地等の見える化

静岡県立浜北特別支援学校

(一社) GIS 支援センター

キーワード

特別支援学校、防災マップ、通学支援、遠隔地支援、地理院地図

児童生徒の居住地やスクールバスの運行経路等を地図上で可視化し、ハザードマップと統合することで、危険箇所の把握や避難対応の迅速化を図った。また、危機管理体制の強化と防災教育への活用を推進している。本システムの開発にあたっては、G 空間 EXP02019 の Geo アクティビティコンテストで発表された事例を参考とし、大阪の技術者による他地域支援の取り組みを基に、同技術者の支援を受けながらシステム構築の検討と実施を行った。

システム構築の経緯

2021年7月に西部特別支援学校で操作マニュアルや構成概要書の提供を受け、基本機能を把握してデータ管理項目を検討し、10月に構築が完了した。2022年1月から運用を始め、個人情報に配慮しつつ教職員・保護者への周知と活用方法の検証を進めている。2024年7月からは浜北特別支援学校にも導入し、危機管理体制の強化に活用している。

システムの概要

本システムは、利用者が自ら学生の居住地や通学経路、スクールバスの路線・停留所、さらに学生の属性情報を登録できる仕組みを備えている。これらのデータを地図上に可視化し、ハザードマップの災害リスク情報と重ね合わせて一元管理することで、災害時の危険箇所の把握や安否確認、避難支援を迅速かつ的確に行うことを可能にしている。

導入成果と今後の展望

本システムは、西部特別支援学校と浜北特別支援学校で導入され、危機管理体制強化や通学時の安全確保、災害対応に効果を上げている。今後は防災学習教材としての活用も想定している。他地域の成功事例や技術者の知見を活かして構築された本モデルは、限られた予算や人員の学校にも有効で、他地域への展開が期待される。

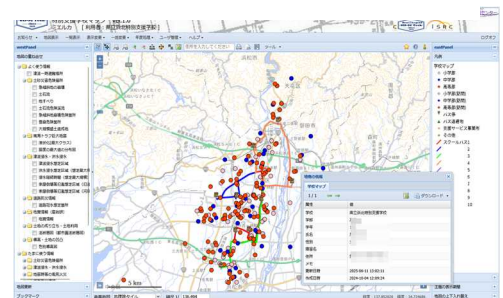
特徴と評価

独創性：通学支援と防災対策を統合し、他地域の技術者の協力で実現した点が特徴的である。

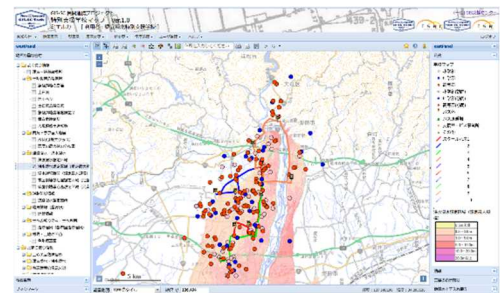
実用性：平常時の通学支援だけでなく、災害発生時にも迅速な安否確認や情報共有を可能にしている。

必要性：さまざまな障害の特性に応じた支援と災害対策に有効で、他地域への展開が期待される。

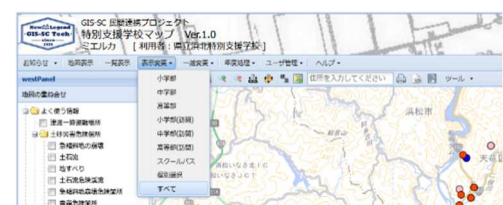
公益性：すべての子どもの安全を確保し、地域連携を通じて防災力の向上に寄与している。



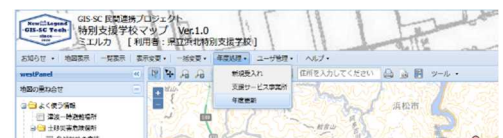
システムの画面(学生の場所とスクールバス路線)



システムの画面(学生の場所とハザードデータの重ねせ)



メニュー(表示変更)



メニュー(年度処理)